

事業コード	H19-建-新-02		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道特殊改良一種事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改良(バイパス)		班 名	企画・高速道路班 (tel) 018-860-2485
路線名等	一般国道101号		担当課長名	加藤 修平
箇所名	能代市須田		担当者名	主幹兼班長 石山 良英
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	03	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率

## 1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H26 (7年)		総事業費	11.5億円	国庫補助率	5.0/10	
事業規模	延長L=1,600m、幅員(構成)W=6.5(9.5)m、(1.5-6.5-1.5)m						
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、青森市を起点とし男鹿市を経て秋田市に至る幹線道路であり、男鹿国定公園や世界自然遺産白神山地などの観光拠点を連絡する観光道路としての機能を有するとともに、日本海側を縦断的に結び青森県沿岸部と産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。また通学路指定路線及びバス路線に指定されるなど地域内交通を支える重要な生活道路である。しかし当該区間は、幅員狭小(Wmin=5m)で線形不良のため交通事故も多発しており、安全な通行確保に支障をきたしている。</p> <p>広域的な幹線道路としての円滑な交通流動と、地域住民の安全性を早急に確保するため、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>現況：交通量12,462台/日、大型車(混入率8.0%、交通量1,000台/日)          大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援)          通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)          第二次緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理の充実)          地域住民、道路利用者の安全確保(交通事故件数16件、事故率39件/億台km)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度以降
	事 業 費		1,150,000	50,000	100,000	150,000	850,000
	経費 内訳	工 事 費	846,000			50,000	796,000
		用 補 費	162,000		80,000	82,000	
		そ の 他	142,000	50,000	20,000	18,000	54,000
	財源 内訳	国庫補助	575,000	25,000	50,000	75,000	425,000
		県 債	258,000	11,000	22,000	33,000	192,000
そ の 他							
一 般 財 源		317,000	14,000	28,000	42,000	233,000	
事 業 内 容			路線測量 用地測量 詳細設計	用地補償費	用地補償費 改良工	改良工 舗装工	
調査経緯	平成17年度 概略設計 平成18年度 予備設計						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画「第3期実施計画」における施策「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	交流・連携の推進による地域活性化 (あきた21総合計画「第3期実施計画」：能代山本地域計画)						
事業を取り巻く情勢の変化	本県沿岸部と青森県を縦断的に結ぶ産業・経済交流を促進する重要な幹線道路であり、また延伸している日本海沿岸東北自動車道へのアクセス道路として、交通量が増加しているにもかかわらず、当該地区は沿道に家屋が密集し幅員狭小であるため、毎年のように交通事故が発生しており、地域住民や学童児童が常に危険にさらされている状況である。(交通事故件数16件)						
事業効率把握の手法	指 標 名	道路整備率					
	指 標 式	整備率(整備済延長/路線実延長)					
	指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目 標 値 a	88 %		データ等の出典	道路統計年報		
	達 成 値 b	86 %					
達 成 率 b/a	97 %		把握の時期	平成19年 4月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	世界自然遺産白神山地・男鹿国定公園の観光道路であり、また通学路指定路線及びバス路線に指定されている地域の生活道路であるにもかかわらず、幅員狭小のため大型車すれ違いが困難であり、地域内の安全が確保されていない。 毎年のように事故が発生しており、早急に改良する必要がある(事故件数16件,H11死亡事故,H13.16重傷事故発生)	35点
緊 急 性	本県沿岸部と青森県を縦断的に結び、地域間交流を促進する幹線道路であることから交通量が増加しており、重大交通事故が多発していることから、学童児童や地域住民の安全確保のため、早急に整備する必要がある。 生活圏内の周辺市町村を繋ぐ連絡道路として、地域の日常生活を支える生活道路であることから、地域の安全確保のため整備の緊急性が高い。	5点
有 効 性	第二次緊急指定道路に指定されており、防災対策上整備は有効である。 延伸を続ける日本海沿岸東北自動車道へのアクセス道路として、冬期においても安全な交通を確保できる。 男鹿半島・白神山地等の沿岸部の観光拠点を結ぶ広域観光ルートであることから、道路利用者の安全性確保のため整備は有効である。	14点
効 率 性	事業の費用便益比は2.83であり、即効性は高い。 ・総費用の現在価値10.7億円 ・総便益の現在価値30.2億円	20点
熟 度	平成16年に須田自治会、平成18年に能代市から、当地区の改良要望が出されている。	10点
判 定	ランク ( ) 判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	84点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	<p>本県と青森県の交流を促進する幹線道路であるとともに、能代山本地域内交通を支える重要な路線である。当該区間は車道・歩道ともに狭く、安全な通行に支障をきたしており、整備の必要性は認められる。</p> <p>バイパス整備において新たに歩道を設けず、現道において歩道を拡幅するなど、コスト縮減と歩行者の利便性に配慮した当該事業の実施は妥当と判断される。</p>

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は交通量が多く、幅員の狭小等により改良の必要性があり、当事業の実施は妥当と考える。

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	・事業の実施は妥当である。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業箇所を国に新規要望する。</li> <li>・事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。</li> </ul>
--

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H19-建-新-02 )

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (能代市須田 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	17	17	2次改築事業については該当しない
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	12		
	・最小半径 < 100m	1箇所	7		
	・最急勾配 > 5%				
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18	18	2次改築は配点36点 2次改築は配点28点 2次改築は配点20点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	14		
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	10		
	・現道の事故率 50件	2件該当	6		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計			35	35	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5	
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3		
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	該当なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	0	0
	位置づけなし	0			
特有の課題の有無	あり	10			
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			20	5	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	秋田21総合計画	2施策以上該当	7	7	
	1施策該当	5			
	該当なし	0			
計			15	14	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	10	10	
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	5		
	1,000台/日未満	0			
計			20	20	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4	
		口頭要望あり	2		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3	
		用地反対	0		
地元への方針説明	あり	3	3		
	なし	0			
計			10	10	
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		